

平成21年度

# 事業の記録

2009



財団法人 鹿児島県国際交流協会

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION

# 目 次

## 《事業の記録》

第1	国際理解の増進	
1	情報収集提供機能の拡充	1
2	広報出版活動の充実	2
3	国際理解の推進	3
第2	国際交流活動の展開	
1	海外との相互交流の推進	6
2	在住外国人との交流促進	7
3	国際交流組織の連携・支援の強化	8
4	国際交流ボランティア制度の拡充	10
第3	多文化共生の推進	
1	在住外国人と日本人の相互理解の促進	11
2	異文化交流の促進	13
第4	国際協力の推進	
1	留学生への支援	15
2	国際協力に対する理解の促進	16
3	国際協力機関等との連携	16
第5	協会体制の確立	
1	管理運営の充実	18
2	組織機構の拡充強化	18
3	財産基盤の確立	19

# 第 1 国際理解の増進

## 1 情報収集提供機能の拡充

### (1) インターネットによる情報収集提供機能の充実

インターネットによる情報の収集・提供（平成10年度開始）

インターネットによる情報収集・提供やホームページの定期的更新を行った。

年 度	内 容
平成19年度	日本語・英語に加え、中国語・韓国語のホームページを開設し、各種情報の随時更新を行うとともに、事業報告書等の情報公開資料の掲載など、内容の拡充を図った。 また、メーリングリストの開設など、Eメールを活用した情報提供を行った。
20年度	日本語・英語・中国語・韓国語のホームページの各種情報の随時更新を行うとともに、事業報告書等の情報公開資料の掲載を行った。
21年度	また、メーリングリストなど、Eメールを活用した情報提供を行った。

### (2) 国際交流プラザのサービス機能の充実

#### ア ライブラリーの整備

##### (ア) 図書類の整備・利用促進（平成2年度開始）

海外渡航や生活情報，留学情報，アジア・太平洋諸国の最新事情及び交流の基礎となる鹿児島県理解に役立つ図書類の収集・充実を図った。

また，海外新聞や海外雑誌等を定期的に購入し，閲覧に供した。

##### 【図書類】

平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末
2, 417冊	2, 453冊	2, 562冊

図書の分野：辞書・辞典，語学，外国事情，留学関係，国際理解，日本文化，日本理解等

##### 【定期購読新聞・雑誌】

年 度	内 容
平成21年度	外国新聞 [5紙] 人民日報，Sunday Times，東亜日報， The Japan Times，The Washington Post 外国語雑誌 [5誌] 週刊韓国，人民中国，読者，TIME，中国語ジャーナル その他 [2誌] 月刊日本語，月刊スッカラ

#### (イ) ビデオテープの閲覧サービス

ビデオテープの閲覧のサービスを実施した。

【ビデオの分野】海外情報，日本紹介，鹿児島県紹介，国際交流，国際協力等

#### (ウ) 外国テレビ放映サービスの実施（BS放送：平成2年度，CS放送：平成15年度開始）

外国テレビ放送（英語・韓国語・中国語放送）の放映サービスを行った。

#### イ 情報提供サービスの推進

県民向け並びに在住外国人向け情報提供サービスの充実に努め，国際理解の増進を図った。

#### ウ 相談機能の充実（新規；平成21年度開始）

在住外国人（特に中国人）からの相談等に応じる交流相談員を配置し，相談機能の充実を図った。

【主な相談内容と件数（交流相談員が受けた相談件数のみ）】

ア 日本人相談内容

年 度	留学	外国 情報	外国語	交流	生活	その他	合 計
平成21年度	3 件	3 件	1 2 件	1 3 件	1 9 件	2 5 件	7 5 件

イ 外国人相談内容

年 度	就労	観光	ビザ	生活	医療	その他	合 計
平成21年度	6 件	0 件	2 件	7 件	0 件	1 8 件	3 3 件

(3) 情報発信の拡大（新規；平成21年度開始）

より多くの県民並びに在住外国人の方々に当協会を知ってもらうために、日本語版、英語版のパンフレットに加え、新たに中国語版、韓国語版を作成し、配付を行った。

日本語版	2, 0 0 0 部
英語版	5 0 0 部
中国語版	5 0 0 部
韓国語版	5 0 0 部

2 広報出版活動の充実

(1) 情報誌の発行

県民向け又は在住外国人向けの情報誌を発行した。

誌 名	暖 流	South Wing	国際交流ひろば
言 語	日 本 語	英 語	日 本 語
発行開始年度	平成 5年度	平成元年度	平成12年度
平成19年度	2 回 各2, 000部	2 回 各 800部	12 回 各 800部
20年度	1 回 2, 000部	1 回 800部	12 回 各 800部
21年度	1 回 2, 000部	1 回 800部	12 回 各 800部
平成21年度の 主な記事	かごしま国際交流フェスティバル、第15回外国人による日本語スピーチコンテスト、日本語・日本理解講座、多文化共生ボランティア、JICA国際交流フェスティバル、県内情報、県内在住外国人による公募型国際理解講座、県国際交流員による国際理解講座、県国際交流員退任挨拶、プラザ情報、香港城市大日本語研修、21世紀東アジア青少年大交流計画、韓国全羅北道への道文化探訪団、鹿児島県青少年国際協力体験事業、留学生と協力隊OBが先生事業	第15回外国人による日本語スピーチコンテスト、在住外国人のための日本語・日本理解講座、かごしま国際交流フェスティバル、県内情報、県内在住外国人による公募型国際理解講座、CIRコーナー、多文化共生ボランティア、CIR挨拶、プラザ情報	県内国際交流・国際協力のイベント情報等
配 布 先	県民向け 市町村、民間交流団体等、 地域国際化協会、県内学校	在住外国人向け 市町村外国人登録窓口、 県内大学、民間交流団体等	県民向け 県内学校、県庁、公共施設等

(2) 刊行物の発行等

国際交流・協力に関する刊行物を発行し、地域の国際化に資した。

平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度事業の記録（ホームページにて発行）</li> <li>留学生のための生活ガイドブック</li> </ul>
--------	--

20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度事業の記録（ホームページにて発行）</li> <li>留学生のための生活ガイドブック</li> </ul>
21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度事業の記録（ホームページにて発行）</li> </ul>

(3) 生活ガイドブックの販売（平成14年度開始）

在住外国人の生活を支援するため、外国語（英語・韓国語・中国語）の鹿児島生活ガイドブックの販売を行った。

【主な内容】法律上の手続き，医療・福祉，交通機関，緊急，災害等インフォメーション

### 3 国際理解の推進

(1) 外国語・文化講座等の開催

ア 県国際交流員等による文化講座等の開催（平成15年度開始）

県国際交流員や在住外国人による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。また、県内各地へ出向き、多くの県民が異文化体験できる機会の提供に努めた。

年 度	実施回数	参加者総数	内 容	講 師	会 場
平成19年度	8回	158名	カナダのおやつ「クレープ」を作ろう，ペラナカンの暮らし，中国の家庭料理を味わう，親子で韓国のおやつを作ろう，韓国文化を学ぶ自分づくり講座，映像で中国の観光地をめぐる，ケベックのフランス語，始良町国際交流料理教室	県国際交流員（シンガポール，カナダ，韓国，中国）	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ 各市町村会場 他
	2回	53名	タピオカのおやつを作ろう，インドネシア文化紹介講座	鹿児島大学留学生（ミャンマー出身，インドネシア出身）	
20年度	5回	250名	幸運を呼ぶアートKolam体験講座，韓国の家庭料理講座，中国文化の話を聞こう，カナダ料理教室（加治木町），2008ふるさと秋祭り（国際交流コーナー，始良町）	県国際交流員（シンガポール，カナダ，韓国，中国）	
21年度	6回	302名	中国文化紹介講座（枕崎市），2009ふるさと秋祭り（始良町），まるごと伊集院フェスティバル（日置市），シンガポールのお菓子，ビストロ交流会（湧水町）	県国際交流員（シンガポール，カナダ，韓国，中国）	

イ 在住外国人による公募型国際理解講座（平成21年度開始）

在住外国人が実施する国際理解講座を公募し、これらの外国人による講座の開催を支援することを通して、在住外国人自らが本県における多文化共生の地域づくりに積極的に参画する機運を醸成した。

年 度	実施回数	参加者総数	内 容	講師出身国	会 場
平成21年度	5回	86名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国食文化講座「サムゲタン」</li> <li>・インドネシア食文化講座「ピサン・ゴレン」</li> <li>・ミャンマー文化紹介講座</li> <li>・ナイジェリア食文化講座「エグシスープ」</li> <li>・エジプト文化紹介講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国</li> <li>・インドネシア</li> <li>・ミャンマー</li> <li>・ナイジェリア</li> <li>・エジプト</li> </ul>	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ

ウ ランチタイム・イングリッシュ・クラブ（平成4年度開始）

英語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「ランチタイム・イングリッシュ・クラブ」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	講 師（鹿児島県国際交流員）	会 場
平成19年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ（カナダ） ツア・シンジュアン（シンガポール）	国際交流プラザ
20年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ（カナダ） ツア・シンジュアン（シンガポール）	
21年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ（カナダ） ツア・シンジュアン（シンガポール） リュ ウェンイェン（シンガポール）	

エ 中国・韓国文化理解・会話テキストCDの頒布（平成19年度開始）

県民の外国人接客能力向上や在住外国人との交流を図り、本県の国際化を進めることを目的に、鹿児島県が制作した、中国・韓国文化理解・会話テキストCDを頒布し、県民と外国人との交流及び県民の国際理解の促進を図った。

(2) 国際理解プログラム事業の実施

ア 「留学生と協力隊OBが先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施

（平成7年度開始）

青年海外協力隊や国際協力、発展途上国等に対する理解を深めるため、留学生や青年海外協力隊のOB・OG等を小・中学校に派遣する事業を、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会とで組織する実行委員会で実施した。

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
派 遣 学 校	46校	45校	47校	
参 加 者 数	2,774名	2,205名	1,993名	
講 師	留学生	21名	27名	28名
	協力隊OB・OG	46名	45名	47名

\*後援：鹿児島県、鹿児島大学、鹿児島県教育委員会、JICA九州国際センター

(3) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解、国際交流、国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して、民族衣装や国旗、地図等の貸出しを行うとともに、その整備・充実を図った。

年 度	国 旗	地 図	民族衣装
平成19年度	22回	1回	20回
20年度	26回	2回	19回
21年度	23回	0回	17回

## 第 2 国際交流活動の展開

### 1 海外との相互交流の推進

#### (1) 海外派遣交流の推進

##### ア 青少年国際協力体験事業の実施（平成2年度開始）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を、市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

年 度	対象地域	団員数	主な派遣先	派遣期間	同行者数
平成19年度 (第16回)	鹿児島市, 枕崎市, 霧島市, いちき串木 野市, 南さつま市, 知覧町, 実行委員会 枠	17名	ベトナム 社会主義共和国 バクニン省 ディンバン村	7月22日(日)~29日(日) (8日間)	6名
20年度 (第17回)	鹿児島市, 鹿屋市, 枕崎市, 霧島市, 南 さつま市, 南九州 市, 実行委員会枠	14名	ラオス人民民主 共和国 ビエンチャン県 ボンミー村	7月20日(日)~27日(日) (8日間)	6名
21年度 (第18回)	鹿児島市, 鹿屋市, 枕崎市, 南さつま 市, 南九州市, いち き串木野市, 実行委 員会枠	14名	ラオス人民民主 共和国 ビエンチャン県 ナーソン村	7月19日(日)~26日(日) (8日間)	4名

##### イ 韓国全羅北道歴史文化探訪団派遣の実施（平成21年度開始）

鹿児島県と韓国全羅北道との交流20周年を記念し、県民の方々が韓国の全羅北道の魅力を体験し、今後の更なる交流促進を図ることを目的に、参加者の募集を行い派遣した。

年 度	派遣期間	派遣人数	内容
平成21年度	9月23日(水)~27日(日) (5日間)	13名	・全羅北道各所の見学 ・ユチジャン作り ほか

##### ウ 海外留学の支援

#### (ア) 留学関係情報の提供（平成2年度開始）

世界主要国の留学制度、海外生活、海外事情等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、相談に応じたり専門機関の紹介を行ったりした。

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
相談件数	15件	12件	5件

#### (イ) ワーキング・ホリデー促進への協力（平成11年度開始）

ワーキング・ホリデーに関する書籍の整備や掲示板で最新情報の掲示を行った。

また、ワーキング・ホリデーを希望する本人や家族からの旅行先、手続き・方法等について、相談に応じた。

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
相談件数	34件	8件	6件



(2) 広域的受入事業

ア 大学生の受入（平成20年度開始）

本県との交流のある香港の日本語学習を希望する大学生に対し、日本語及び日本文化学習の機会を提供し、本県と友好国・地域との交流を行った。

年 度	受入大学等名	受入数	研 修 期 間	研 修 内 容
平成20年度	香港城市大学	12名	7月15日（火） ～8月5日（火）	日本語研修 ホームステイ 各所視察 日本文化体験（着付け・日本料理等）
21年度	香港城市大学	12名	7月14日（火） ～8月4日（火）	日本語研修 ホームステイ 各所視察 日本文化体験（着付け・日本料理等） 大学生等との交流（香港の料理を調理）

イ 高校生の受入（21世紀東アジア青少年大交流計画）（平成20年度開始）

国が企画した「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、香港・マカオの高校生及びベトナムの中高生を受け入れ、高校訪問やホームステイを通じて友好関係の醸成を促進した。

年 度	受入国・地域	受入数	受 入 時 期
平成20年度	香港・マカオ	43名	平成20年7月18日（金）～7月19日（土）
	ベトナム	18名	平成20年12月4日（木）～12月10日（水）
21年度	ベトナム	18名	平成21年12月4日（金）～12月9日（水）

ウ 国際観光船寄港時の協力（平成2年度開始）

国際観光船の寄港時等に、主催者や関係機関と連携し、語学ボランティアを紹介するなど必要な協力を行った。

年 度	日 時	観 光 船 名	内 容	参 加 者 数
平成19年度	7/7（土）、7/12（木）、 7/16（月）、7/22（日）、 7/27（金）、8/31（金）、 9/15（土）、9/24（月）、 10/4（木）	コスタアレグラ号	通訳（中国語）	延べ 11名
20年度	—			
21年度	3/13（土）	オイローパ号	通訳（ドイツ語）	1名

2 在住外国人との交流促進

(1) 国際交流活動の促進

市町村・団体等への支援（平成2年度開始）

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、その企画立案等の相談に応じるとともに、後援の形で必要な協力を行った。

年 度	共催件数	後援件数
平成19年度	0件	10件
20年度	0件	10件
21年度	0件	9件

(2) 「かごしま国際交流フェスティバル」事業の開催（平成20年度開始）

体験型のプログラムを通して、世界の国々や異文化の存在を肌で感じ、国際交流・国際理解への第一歩となることを目的としたフェスティバルを実施した。

実施に当たっては、NGOとの連携及び在住外国人との共生の促進を図るため、NGOや県内在住外国人にブースの出店などの協力をもらい、県民との相互理解・交流を深めた。

開催期日	内 容	参加者	開 催 場 所
平成20年11月30日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民族衣装体験</li> <li>・ブラジル紹介、ぬりえ</li> <li>・フェアトレードの紹介・販売</li> <li>・ヘナペイント</li> <li>・世界の遊び、外国の歌・踊り</li> <li>・ビーズで国旗作り、フェイスペイント</li> <li>・民族楽器体験、民族楽器の演奏</li> <li>・外国の踊りや演奏</li> <li>・みんなで大きな絵をかこう</li> <li>・クイズラリー</li> <li>・世界の食ひろば (ナイジェリア、ブラジル、中国、トルコ、インドネシア、シンガポール、韓国の料理やおやつ、インドやパキスタンのカレー)</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	4,656名	かごしま 県民交流 センター 各会場
平成21年11月21日(土) 22日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民族衣装・民族楽器体験</li> <li>・各国際交流団体活動紹介</li> <li>・ビーズアクセサリ（国旗作り）</li> <li>・民族楽器（サンポーニャ）作り</li> <li>・パッチワーク（ベジタブル）作り</li> <li>・プチ英会話</li> <li>・フェアトレード商品販売</li> <li>・入国・在留手続きに係わる相談</li> <li>・韓国（全羅北道）観光案内</li> <li>・韓国琴（カヤグム）の演奏</li> <li>・ヘナペインティング</li> <li>・青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの応募相談</li> <li>・KUFSA IDOL（歌のコンテスト）</li> <li>・ワークショップ（世界がもし100人の村だったら）</li> <li>・世界の食ひろば (パキスタン、バングラデシュ、マレーシア、フィリピン、ブラジル、中国、インドネシアなど)</li> </ul>	5,076名	かごしま 県民交流 センター 各会場

### 3 国際交流組織の連携・支援の強化

(1) 民間団体の国際交流・協力活動への助成（平成2年度開始）

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的

とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し助成金を交付した。

団体名	活動目的・内容	助成額 (千円)
社団法人鹿児島青年会議所	(目的) 恒久的な世界平和の確立に向けた理念と、トレーニングを通して国内外参加者との相互理解や、明日のグローバルリーダーを育成し、JCI（世界青年会議所）全体の発展に寄与することや、世界のメンバーへ日本への理解を深める事を目的とする。 (内容) ○平成21年7月3日～7月11日 ・学校訪問プログラム ・日本文化体験プログラム ・鹿児島文化体験プログラム ・ウェルカムパーティー ・フェアウェルパーティー ・ホームステイ事業 ○平成21年9月27日 報告会	300千円
鹿児島文化交流協議会	(目的) 鹿児島市の伝統的な行事「おはら祭り」を友好都市長沙市で開催し、日本舞踊などの芸能を通じた文化交流を行い鹿児島市民及び県民も含めて長沙市民との親善交流を深める。 (内容) 平成21年7月25日～29日 ・長沙市友好平和公園でのおはら祭り ・長沙市劇場での文化交流 ・長沙市役所への表敬訪問	300千円
薬丸野太刀自顕流保存会	(目的) アメリカ合衆国ワシントン州シアトルにおいて、NPO法人東部日本祭協会（East side Nihon Matsuri Association）が主催する「秋祭り」に参加し、薬丸野太刀自顕流の演武及び体験稽古・講演等を通じて、薩摩文化の紹介を行い、国際文化交流の一助となす。 (内容) 平成21年9月11日～17日 ・「秋祭り」演武・体験指導及び特別講演「郷中教育と自顕流」 ・シアトル総領事館での演武・レセプション ・現地道場との交流	217千円
鹿児島県ラグビーフットボール協会	(目的) 姉妹都市であるオーストラリアのパース市の高校生とのラグビーの親善試合や試合後の交流会を通じて、両市の青少年の交流を深めるとともに、語学の習得や国際感覚を身につけさせる。 (内容) 平成22年3月25日～31日 ・パース市高校チームとの交流試合 ・アフターファンクション（交流試合後 ノーサイドの精神に則り、お互いの検討を称えエール交換や交流を深める） ・パース市長表敬訪問 ・専門コーチによるコーチング	450千円
計4件	助成金交付額 1, 267千円	

(2) 市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進（平成11年度開始）

ア 共通の課題や問題を抱える市町村の職員を対象とした講演会及び意見交換会を開催し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワークづくりを推進した。

年度	開催日	参加団体	備考
平成19年度	平成19年12月16日(日)	20団体	市町国際交流協会 県内国際交流団体等
20年度	平成21年2月17日(火)	20市町	市町村
21年度	平成22年2月8日(月)	14市町村 5団体	市町村 市町国際交流協会

イ 国際交流団体間の情報交換及び連携を図るため、「鹿児島県国際交流・協力団体メーリングリスト」の活用を促進した。

(3) 市町村との協働事業の実施（新規；平成21年度開始）

市町村を対象に公募を行い，協働して国際交流事業を実施することを通して，地域の国際化，地域活性化を促進した。

年 度	開 催 日	参加人数	採択市町村	事業内容
平成21年度	平成21年10月23日(金) ～24日(土)	86名	鹿児島市	多文化共生ワークショップ

(3) 全国組織等との連携

ア 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ，財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし，事務・事業の円滑な推進を図った。

年 度	内 容	開 催 日	開催場所
平成19年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成19年5月14日	東京都
20年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成20年5月29日	東京都
21年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成21年5月13日	東京都

イ 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会で組織する連絡協議会の総会及び実務者研究会に参加し，相互の情報交換や連携の強化を図った。

年 度	内 容	開 催 日	開催場所
平成19年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成19年7月12日～13日	沖縄県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成19年11月21日	鹿児島県
20年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成20年7月17日～18日	宮崎県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成20年11月20日	熊本県
21年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成21年7月16日～17日	福岡県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成21年11月27日	佐賀県

## 4 国際交流ボランティア制度の拡充

### ボランティア活動の拡充・促進（平成2年度開始）

各種ボランティア登録者の拡大を図るとともに，登録者の充実した活動ができるよう支援した。また，協会の各種事業において，ボランティアの活動の機会を提供するとともに，広報等に努めた。

(1) 登録者の状況（年度末現在）

年 度	ホストファミリー ボランティア	語学ボランティア
平成19年度	69家庭	65名
20年度	57家庭	56名
21年度	49家庭	66名

(2) 活動の状況

平成19年度	平成20年度	平成21年度
15件	12件	11件

## (3) 活動実績 (平成21年度)

## ア ホストファミリーボランティア

名 称	期 日	家庭数
第22回国際アカデミー in 鹿児島 (アメリカ)	平成21年7月 4日 (土) ～7月 7日 (火) (3泊4日)	2 家庭
平成21年度香港城市大学日本語研修	平成21年7月17日 (金) ～7月24日 (金) (7泊8日)	5 家庭
鹿児島県青少年海外ふれあい事業 (シンガポール)	平成21年10月30日 (金) ～11月 1日 (日) (2泊3日)	5 家庭
21世紀東アジア青少年大交流計画 (ベトナム)	平成21年12月 6日 (日) ～12月 7日 (月) (1泊2日)	4 家庭
シンガポール日本語スピーチコンテスト 優勝者等のホームステイ	平成22年3月12日 (金) ～3月14日 (日) (2泊3日)	2 家庭

## イ 語学ボランティア

名 称	期 日	活動人数	内 容
第22回国際アカデミー in 鹿児島 (アメリカ)	平成21年7月3日 (金) ～7月12日 (日)	6名	国際交流イベント における英語の通 訳
個人旅行への同行 (アメリカ)	平成21年10月13日 (火) ～10月17日 (土)	1名	鹿児島市内や知覧 の歴史・文化を紹 介
「司馬庫斯部落詩抄」の翻訳	平成21年10月30日 (金) ～11月30日 (月)	1名	台湾の友人から寄 贈された本 (繁体 字) の翻訳
個人旅行への同行 (台湾)	平成21年12月23日 (水)	1名	鹿児島市内の歴 史・文化を紹介
海外観光船 (オイローパ号) 受入時の 通訳 (ドイツ)	平成22年3月13日 (土)	1名	ドイツ・オースト ラリアからの観光 客船入港時の対応
個人旅行への同行 (フランス)	平成22年4月21日 (水)	1名	知覧の歴史・文 化を紹介

## 第3 多文化共生の推進

### 1 在住外国人と日本人の相互理解の促進

#### (1) 在住外国人のための日本語・日本理解講座の開催（平成16年度開始）

県内に在住している外国人を対象に、日本語及び地域社会で生活する上で必要な生活情報等についての研修を行い、生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図った。

クレアの助成事業として実施した。

年 度		講座回数		受講者数	会 場
平成19年度	初 級 (前期)	15回 (5月～9月毎週水曜日)		10名	国際交流プラザ
	初 級 (後期)	15回 (10月～1月毎週水曜日)		17名	
	中 級 (前期)	15回 (5月～9月毎週火曜日)		18名	
	中 級 (後期)	15回 (10月～1月毎週木曜日)		22名	
20年度	初 級	30回 (5月～2月毎週水曜日)		23名	
	中 級	30回 (5月～2月毎週木曜日)		26名	
21年度	水 曜 ク ラ ス	前期	10回 (5月～7月毎週水曜日)	52名 (延べ数)	
		中期	15回 (9月～12月毎週水曜日)		
		後期	5回 (1月～2月毎週水曜日)		
	木 曜 ク ラ ス	前期	10回 (5月～7月毎週木曜日)	42名 (延べ数)	
		中期	15回 (9月～12月毎週木曜日)		
		後期	5回 (1月～2月毎週木曜日)		

#### (2) 多文化共生ボランティア実践講座の開催（平成21年度開始）

平成19、20年度多文化共生ボランティア育成講座修了者を対象に、様々なボランティア活動場面を想定した実践講座を開催し、即戦力として実際に活動しうるよう能力向上を図った。

クレアの助成事業として実施した。

年 度	開 催 期 日		内 容	受講者数
平成21年度	第1回	平成21年5月9日（土）	英語通訳スキルアップ	17名
	第2回	平成21年7月11日（土）	中国残留邦人帰国後の現状	13名
	第3回	平成21年9月12日（土）	県内在住外国人の現状	14名
	第4回	平成21年10月10日（土）	外国人に係る制度・法律を学ぶ	8名

第5回	平成21年12月12日（土）	やさしい日本語表現 ～フォリナートークの使い方～	11名
第6回	平成22年1月23日（土）	傾聴スキルを学ぼう！	13名

(3) 多文化共生ボランティア育成講座受講生の活動支援（平成20年度開始）

平成19、20年度に上記講座を受講した受講生の活動を支援するため、情報提供など支援を行った。

年 度	支 援 内 容
平成20年度	ボランティアミーティング ボランティアへの助言や関係機関等との連絡調整 相談時の職員同行 など
21年度	

(4) 生活相談等

関係機関・団体等と連携しながら、各種の生活相談を行った。

【主な相談内容と件数（交流相談員の相談件数を除いた件数）】

ア 日本人相談内容

年 度	留 学	外国 情報	外国語	交 流	生 活	ワーキング ホリデー	その他	合 計
平成19年度	15件	19件	30件	12件	5件	—	114件	195件
20年度	12件	20件	17件	11件	4件	—	40件	104件
21年度	2件	14件	22件	18件	11件	6件	34件	107件

※平成21年度より、『ワーキングホリデー』の項目をその他から細分化した

イ 外国人相談内容

年 度	就 労	観 光	ビザ	生 活	医 療	その他	合 計
平成19年度	14件	5件	14件	11件	3件	44件	88件
20年度	5件	3件	4件	8件	1件	25件	46件
21年度	1件	5件	3件	4件	0件	9件	22件

(5) 相談・支援体制の充実（再掲）

交流推進員及び交流相談員を中心に、外国人等の生活相談、国際交流に係る相談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向上に努めた。

## 2 異文化交流の促進

(1) 外国人による日本語スピーチコンテストの開催（平成18年度開始）

各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを開催し、国籍や文化の違いを越えた相互理解及び国際交流を深める機会とした。なお、平成20年度は、クレアの助成事業として実施した。

年度	区分	開催期日	出場者	出場者出身国・地域
平成19年度	予選	平成20年1月6日（日）	29名	中国、韓国、台湾、インドネシア、ブラジル、ペルー、ドイツ、フィリピン、マレーシア、カナダ、タイ、アメリカ、タンザニア
	本選	平成20年1月14日（月）	10名	中国、韓国、インドネシア、タイ、マレーシア、アメリカ

20年度	予選	平成21年 1月10日 (土)	31名	中国, 韓国, 台湾, インドネシア, マレーシア, タイ, ミャンマー, モンゴル, カナダ, イギリス, アメリカ
	本選	平成21年 1月17日 (土)	10名	中国, 韓国, ミャンマー, カナダ, イギリス, アメリカ
21年度	予選	平成22年 1月 9日 (土)	25名	中国, 韓国, 台湾, インドネシア, マレーシア, ネパール, ボリビア, ナイジェリア
	本選	平成22年 1月16日 (土)	10名	中国, 韓国, インドネシア, ネパール

(3) 在住外国人によるかごしま写真コンテストの開催 (平成20年度開始)

在住外国人が地域社会の一員として県民とともに暮らす中で感じたことなどを写真を通して発表し、国籍や文化の違いを越えた相互理解・国際交流を深め、多文化共生の社会づくりを図った。なお、鹿児島大学留学生会との共催とした。

年 度	応募期間	テーマ	応募件数 (枚)	出身国・地域
平成20年度	平成21年 1月20日 ～3月6日	・旅行 ・驚き ・私のベスト ショット	129枚	中国, カナダ, イギリス, フィリピン, パキスタン, 韓国, マレーシア, アメリカ, シンガポール, オーストラリア, タンザニア, ケニア, ニューージーランド, 台湾, ミャンマー, エジプト, アイルランド
21年度	平成22年 1月26日 ～2月26日	・旅行 ・驚き ・私のベスト ショット	70枚	中国, ジャマイカ, パキスタン, ブータン, アメリカ, オーストラリア, フィリピン, ドイツ, カンボジア, バングラデシュ, マレーシア, カナダ, 韓国

(4) 県国際交流員等による文化講座等の開催 (再掲)

県国際交流員や在住外国人による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。

(5) 在住外国人による公募型国際理解講座 (再掲)

在住外国人が実施する国際理解講座を公募し、これらの外国人による講座の開催を支援することを通して、在住外国人自らが本県における多文化共生の地域づくりに積極的に参画する機運を醸成した。

(6) 国際交流プラザでの交流促進

来訪者同士の自由な交流 (平成2年度開始)

国際交流プラザを訪れる外国人と県民とが気軽に談笑したり、情報や意見交換を行うなどの自由な交流を楽しむ場を提供した。

また、伝言板を設置して、イベント・不要品交換などの情報交換の場を提供した。



## 第 4 国際協力の推進

### 1 留学生への支援

#### (1) 研究活動費の助成（平成 3 年度開始）

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費の助成を行った。

年 度	対象者	助 成 金
平成19年度	8名	232千円
20年度	0名	0千円
21年度	0名	0千円

#### (2) 留学生の交流活動への支援（平成 5 年度開始）

東文子・外国人留生活活動等支援事業会計を活用し、留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費の助成を行うなど、留学生の交流活動等への支援を行い、国際交流・理解をさらに促進した。

##### ア 留学生会等への支援

年 度	件 数	金 額
平成19年度	2件	8千円
20年度	2件	8千円
21年度	2件	8千円

##### イ 東文子・外国人留生活活動等支援事業（外国人留学生交流活動事業助成金）

年 度	件 数	金 額
平成19年度	3件	424千円
20年度	3件	487千円
21年度	12件	468千円

#### (3) 留学生支援資金貸付制度の運営（平成 1 0 年度開始）

留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息で資金の貸付を行った。

年 度	貸付件数	貸付額
平成19年度	7件	700千円
20年度	3件	300千円
21年度	5件	500千円

#### (4) 留学生住宅確保支援事業（平成 1 3 年度開始）

留学生が住居を賃借する際に、当協会が賃貸契約の連帯保証人として機関保証することにより、留学生の円滑な住宅確保を図った。

年 度	件 数
平成19年度	13件
20年度	15件
21年度	19件

(5) 各大学等留学生担当者意見交換会の開催（平成18年度開始）

留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し、連携を深めた。

開催日	参加者	開催場所
平成19年4月25日（水）	17名	かごしま県民交流センター
平成20年4月22日（火）	17名	
平成21年4月23日（木）	14名	

(6) 留学生のための生活ガイドブックの発行

日本語や日本の生活習慣等に不慣れな新入学の留学生が、戸惑うことなく安心して鹿児島での生活を送ることができるよう、「留学生のための生活ガイドブック」を発行した。

平成19年度	平成20年度	平成21年度
150部	750部	—

## 2 国際協力に対する理解の促進

(1) 青少年国際協力体験事業の実施（再掲）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を、市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

クレアの助成事業として実施した。

## 3 国際協力機関等との連携

(1) 独立行政法人国際協力機構（JICA）

国際協力推進員の配置（平成8年度から）

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

【国際協力に関する情報提供、相談】

年度	開発教育	NGO	その他の国際協力	合計
平成19年度	77件	12件	235件	324件
20年度	65件	10件	240件	315件
21年度	80件	8件	245件	333件

(2) 財団法人国際協力推進協会（APIC）

「国際協力プラザコーナー」の設置（平成10年度開始）

APICから提供される国際協力に関する情報提供を行った。（パンフレット、書籍、ビデオ等）

(3) 財団法人日本ユニセフ協会

子供向け、学校向けのユニセフ視聴覚教材を揃え、貸出を行った。

ユニセフビデオの貸し出し（平成6年度開始）

平成19年度	平成20年度	平成21年度
21件	14件	28件

(4) 在外県人会の育成

ア 活動の支援（昭和62年度開始）

在外県人会が行う移住者の援護指導，消息不明者の調査，移住者の実態調査，県人子弟の育成・指導，母県との交流などの活動を支援するため，これらの業務を県人会に委託した。

委託先：ブラジル，アルゼンチン，ペルー，パラグアイ鹿児島県人会

イ 郷土情報の提供（昭和62年度開始）

在外県人会並びに県出身者に対して，グラフかごしま，県政かわら版，かごしまNOW等を定期的に送付し，郷土情報の提供を行った。

## 第5 協会体制の確立

### 1 管理運営の充実

#### (1) 国際交流プラザの運営（平成2年度開始）

「国際交流プラザ」の運営について、県の委託を受けて、県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう各種のサービスの提供に努めた。

##### ア 国際交流プラザ入館者数・会議室利用件数

年度	入館者数	会議室利用件数
平成19年度	40,135名	258件
20年度	45,083名	199件
21年度	40,736名	194件

##### イ 国際交流プラザの施設

設置年月：平成2年7月（平成15年4月移転）

施設総面積：433.46㎡（移転前193.08㎡）

施設の内容：交流サロン、情報資料コーナー（図讎、ビデオ）、研修施設（会議）、メッセージボード

#### (2) 旅券業務の遂行（昭和62年度開始）

県の委託を受けて、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。

年度	旅券交付件数	取扱事務所
平成19年度	29,753件	かごしま県民交流センター内パスポート窓口， 地域振興局（南薩，北薩，姶良・伊佐，大隅）， 支庁（熊毛，大島）， 事務所（屋久島，瀬戸内，喜界，徳之島，沖永良部）
20年度	28,389件	
21年度	27,819件	

### 2 組織機構の拡充強化

新しい時代感覚と複雑多様化する国際交流・協力事業を円滑適切に遂行していくため、各種の研修等による職員の資質の向上に努めた。

年度	研修	実施期間	実施場所
平成19年度	旅券事務担当者実務研修	平成19年5月25日	鹿児島市
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成19年7月5日～6日	東京都
	多文化共生社会対応コース研修	平成19年8月27日～31日	滋賀県
	地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成19年8月30日～31日	東京都
	災害対策事例説明会	平成19年9月7日	大分県
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成19年12月13日～14日	東京都
20年度	旅券事務担当者実務研修	平成20年5月16日	鹿児島市
	外国人住民相談相互支援システム利用研修会	平成20年6月20日	福岡県
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成20年7月9日～10日	東京都
	多文化共生社会対応コース研修	平成20年8月25日～29日	滋賀県
	地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成20年9月11日～12日	東京都
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成20年12月11日～12日	東京都

21年度	旅券事務担当者実務研修	平成21年5月29日	鹿児島市
	多文化共生の地域づくりコース研修	平成21年8月24日～28日	滋賀県
	地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成21年8月27日～28日	東京都
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成21年12月10日～11日	東京都

### 3 財源基盤の確立

(1) 基本財産の適切な運用と事業推進に必要な財源確保に努めた。

(2) 地域国際化協会等先導的施策支援事業の実施（平成9年度開始）

財団法人自治体国際化協会の助成を受け、先導的施策支援事業を実施した。

年 度	事 業 名	助成金の額
平成19年度	国際理解プログラム事業	700千円
20年度	かごしま国際交流フェスティバル事業	1,420千円
21年度	—	—

(3) 地域国際化施策支援特別対策事業の実施（平成19年度開始）

財団法人自治体国際化協会の助成を受け、地域国際化施策支援特別対策事業を実施した。

年 度	事 業 名	助成金の額
平成19年度	在住外国人と日本人のための異文化理解講座	900千円
20年度	在住外国人と日本人のための異文化理解講座	400千円
21年度	在住外国人と日本人のための異文化理解講座	550千円